



VOL.10

くす

若宮神社の楠

天高く広がった枝の間から木漏れ日が差し込む
樹齢800年を越える大きな楠

あ んずの里市の駐車場から津屋崎方面に5分ほど歩き、車が離合できない細い道を通って集落の奥に進むと、鳥居の先に若宮神社の本殿が見えてきます。その左手に、地表に露出するほど太い根を境内に張り巡らせた、ひときわ大きな楠の木がそびえ立っています。

樹齢は800年以上と推定され、胸高の幹回りは約6.3m、樹高は約25mです。根元から複雑にねじれた太い幹と天高く広がった枝は、童話に出てくる木の神様のようで、今にも動き出しそうな迫力があります。枝は複雑に分かれて境内に影をつくり、わずかな隙間を縫って、木漏れ日が差し込みます。



▲太い幹から複雑に枝を伸ばしています



「福津三十六景」とは

市が誇る優れた景観や伝統的な祭りの風景などのこと。上の写真は、若宮神社の境内を撮影したものです。市内に点在する福津三十六景へのアクセスは、市公式ホームページをご覧ください。



福津三十六景を訪れる際は、交通ルールを守るなど、マナーアップを心掛けましょう。